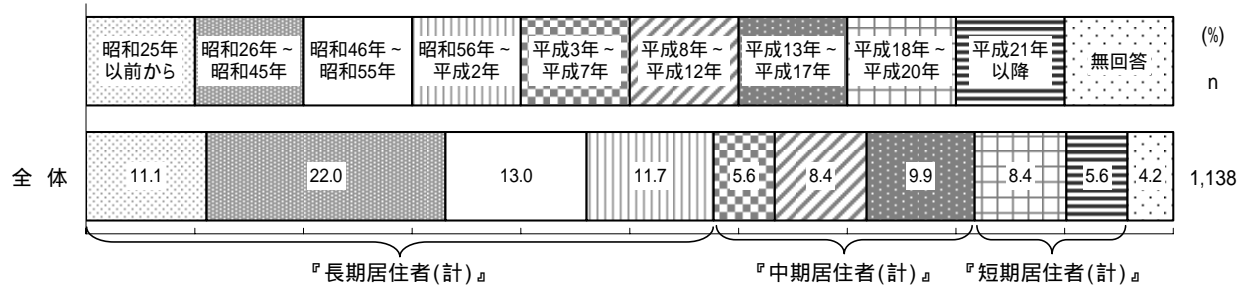


12. 定住性

(1) 居住開始時期

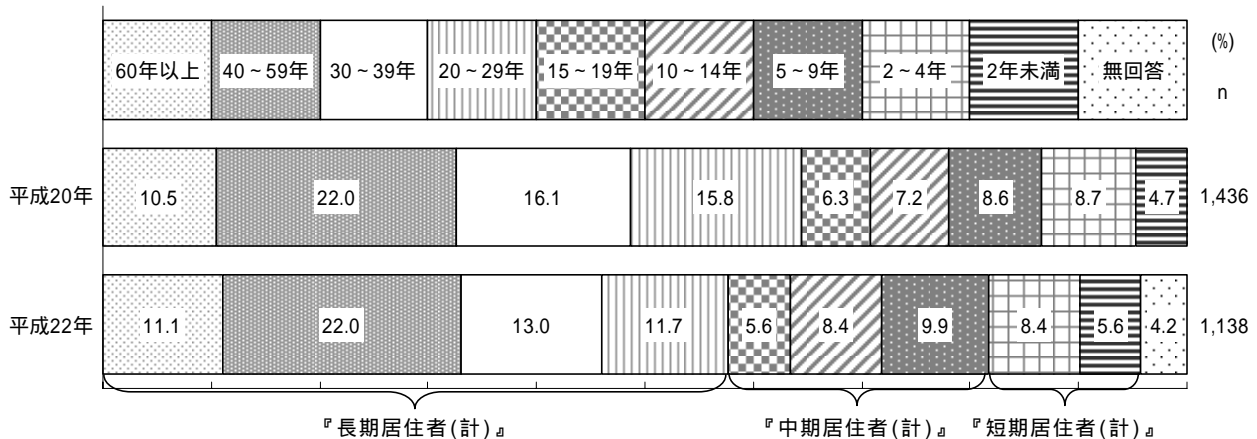
(全員の方に)

F5. あなたは、いつ頃から大田区に住んでいますか。(1つだけ)



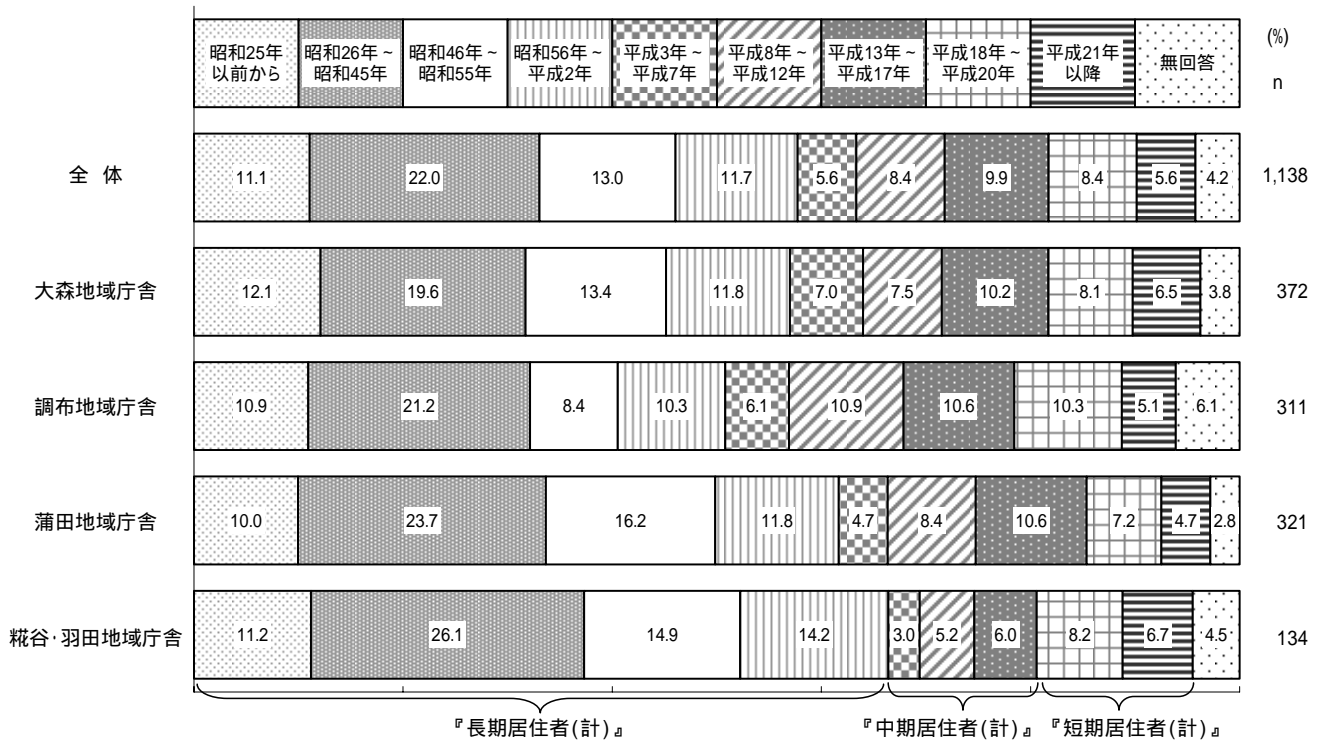
- 全体でみると、「昭和25年以前から」(11.1%)、「昭和26年～昭和45年」(22.0%)、「昭和46年～昭和55年」(13.0%)、「昭和56年～平成2年」(11.7%)の4つを合わせた、大田区に20年以上居住している『長期居住者(計)』(57.8%)が6割弱となっている。「平成3年～平成7年」(5.6%)、「平成8年～平成12年」(8.4%)、「平成13年～平成17年」(9.9%)の3つを合わせた、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者(計)』(23.9%)は2割を超え、「平成18年～平成20年」(8.4%)と「平成21年以降」(5.6%)を合わせた、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』(14.0%)は1割強となっている。

[居住開始時期(居住年数) - 過年度比較]



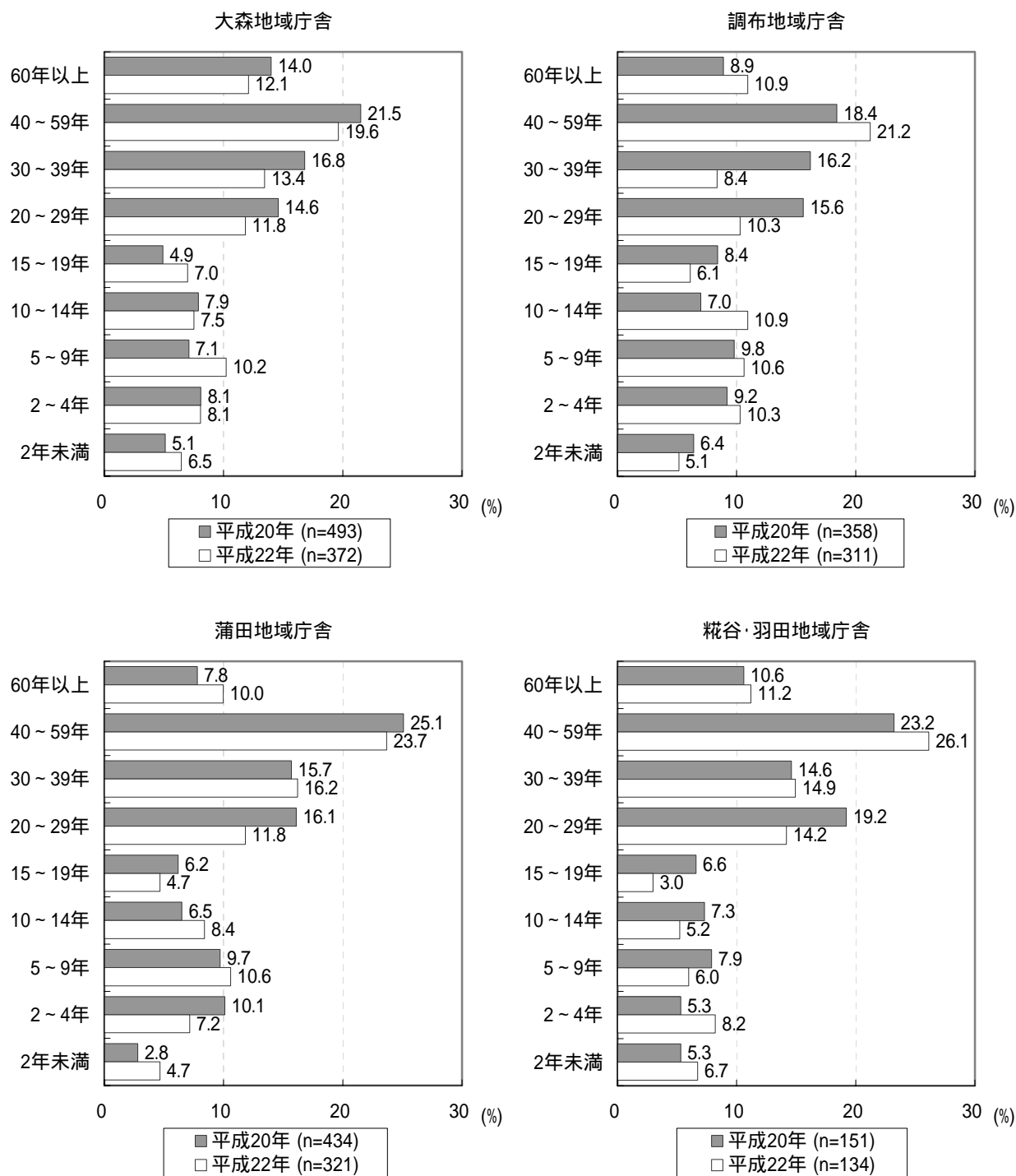
- 大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、前回調査の結果と比較した。居住年数が20年以上の『長期居住者(計)』は6.6ポイント減少しているが、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者(計)』、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』の割合は、前回からほぼ変化がない。「無回答」が4.2%となっているが、これは、今回調査より調査方法を郵送法に変更した影響だと考えられる(前回調査は個別面接聴取法)。

[居住開始時期 - 地域庁舎管内別]



- ・ 地域庁舎管内別にみると、居住年数 20 年以上の『長期居住者(計)』の割合が最も高いのは糎谷・羽田地域庁舎管内で 6 割半ば、最も低いのは調布地域庁舎管内で約 5 割となっている。居住年数が 5 年～20 年未満の『中期居住者(計)』は、調布地域庁舎管内で 2 割半ばと最も高く、居住年数が 5 年未満の『短期居住者(計)』も、調布地域庁舎管内で 1 割半ばと最も高くなっている。

[居住開始時期（居住年数） - 地域庁舎管内別（過年度比較）]

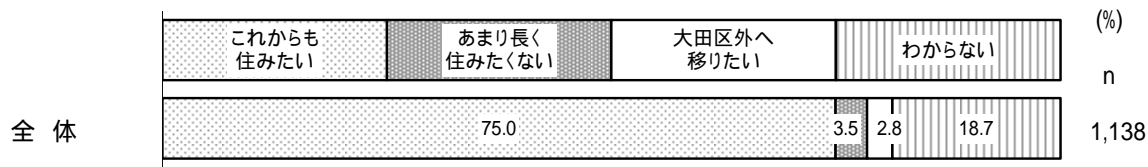


- ・ 大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、地域庁舎管内別に前回調査の結果と比較すると、居住年数が20年以上の『長期居住者（計）』はいずれの管内においても割合が減少している。居住年数5年以上20年未満の『中期居住者（計）』は糎谷・羽田地域庁舎管内を除いて割合が増加しており、大森地域庁舎管内では4.8ポイントと最も大きく増加している。居住年数が5年未満の『短期居住者（計）』は大森地域庁舎管内で1.4ポイントの増加、糎谷・羽田地域庁舎管内で4.3ポイント増加している。

(2) 定住意向

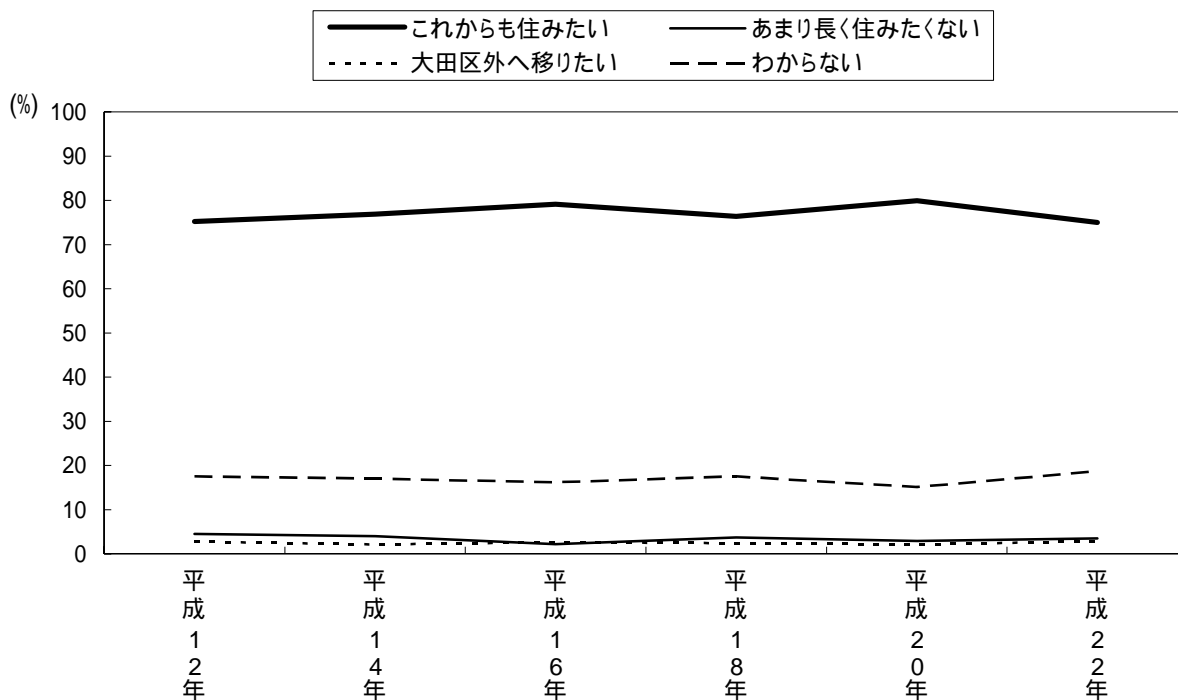
(全員の方に)

問 30 . これからも大田区に住みたいと思いますか。(1 つだけ)



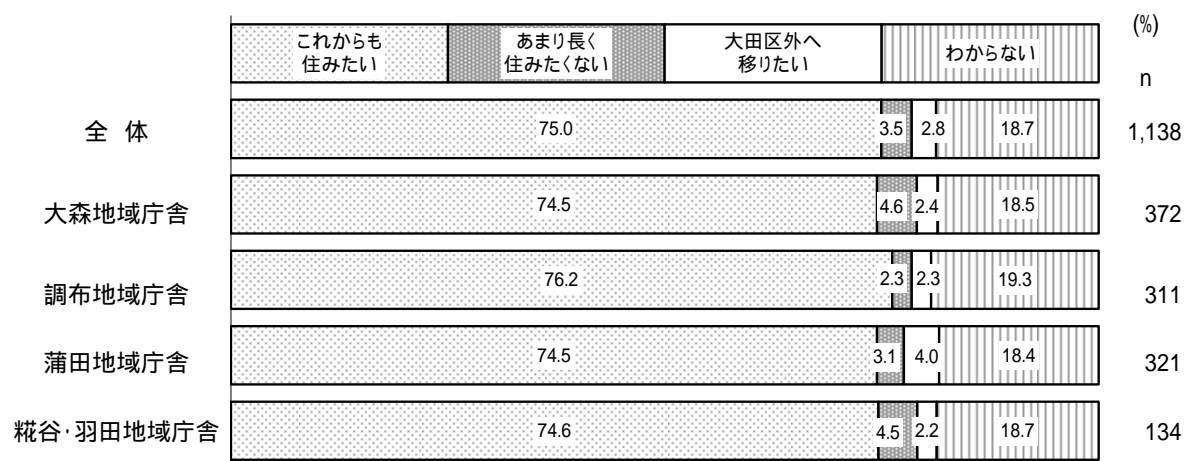
- ・ 全体で見ると、「これからも住みたい」(75.0%) が大部分を占めている。「あまり長く住みたくない」(3.5%) と「大田区外へ移りたい」(2.8%) を合わせた転出意向のある人は 6.3% となっている。

[定住意向 - 過年度比較]



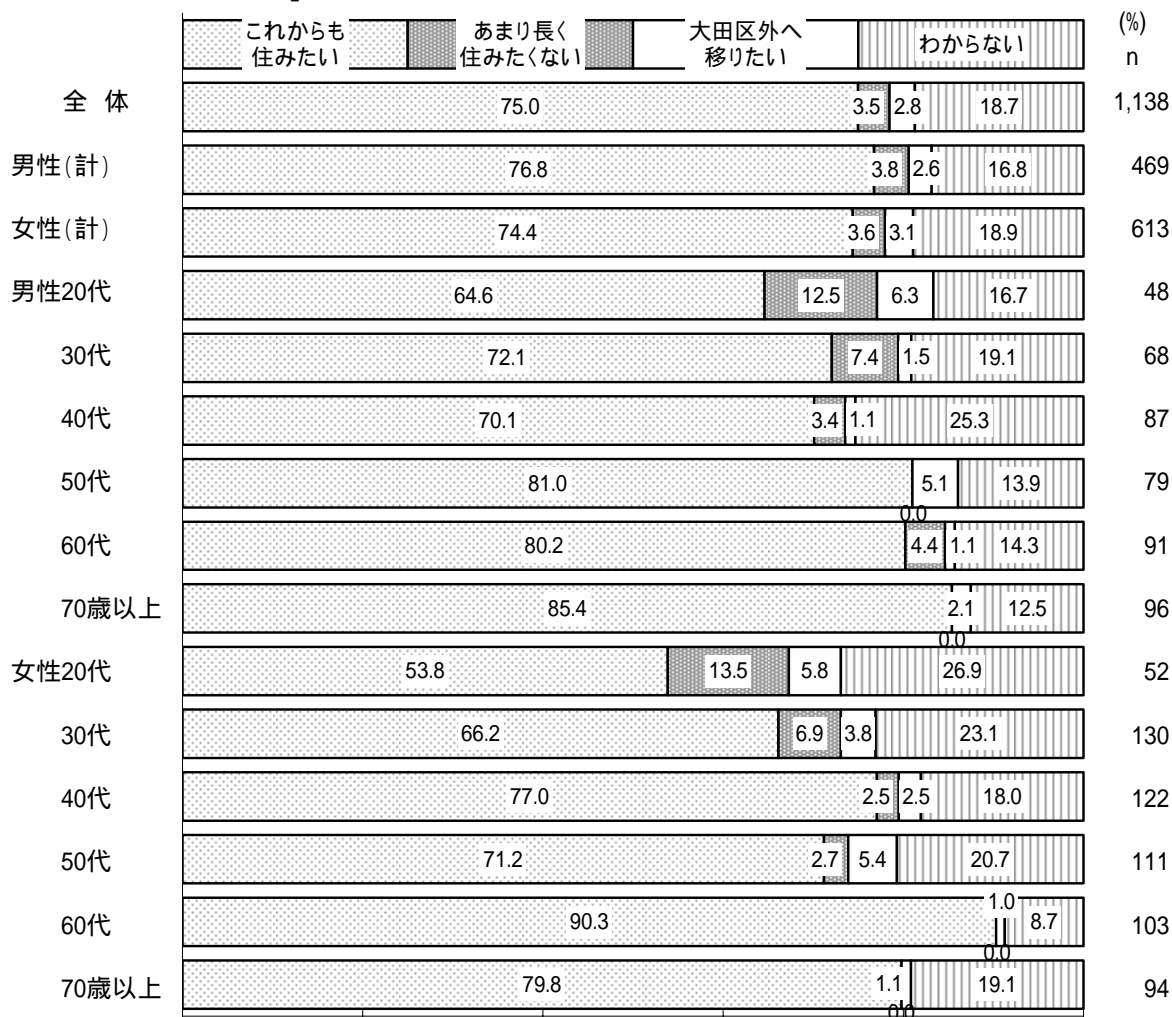
- ・ 過去 10 年の定住意向の推移をみると、すべての年において 7 割を超える高い割合である。「これからも住みたい」(75.0%) は、前回結果 (79.9%) と比較すると減少はしているが、調査方法の変更の影響も考えられる。

[定住意向 - 地域庁舎管内別]



- ・ 地域庁舎管内別にみると、いずれの管内においても「これから住みたい」が7割強となっており、「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」はわずかである。

[定住意向 - 性 / 年代別]



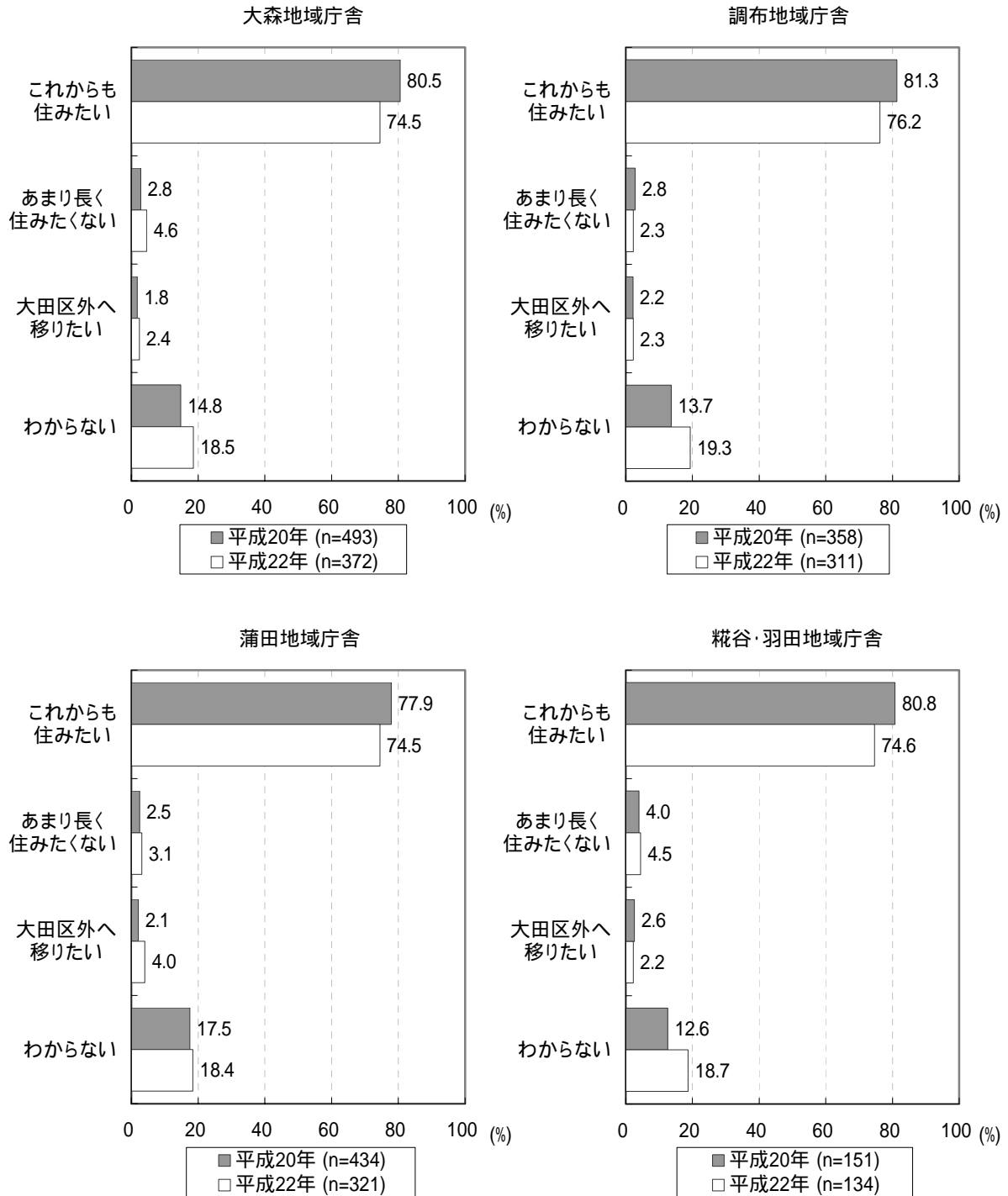
- ・ 性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。
- ・ 性 / 年代別にみると、「これから住みたい」は男女とも高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に女性 60代では9割を超えている。

[定住意向 - 居住開始時期別]

	これからも 住みたい	あまり長く 住みたくない	大田区外へ 移りたい	わからない	(%) n	
全 体	75.0		3.5	2.8	18.7	1,138
昭和25年以前から	85.7		0.8	0.8	12.7	126
昭和26年～昭和45年	86.4		0.4	1.6	11.6	250
昭和46年～昭和55年	81.8		0.7	3.4	14.2	148
昭和56年～平成2年	80.5		2.3	3.0	14.3	133
平成3年～平成7年	71.9		4.7	1.6	21.9	64
平成8年～平成12年	68.8		1.0	1.0	29.2	96
平成13年～平成17年	58.4	7.1	8.8		25.7	113
平成18年～平成20年	59.4	11.5	3.1		26.0	96
平成21年以降	51.6	17.2	3.1		28.1	64

- ・ 居住開始時期別にみると、「これからも住みたい」では居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、平成2年以前から居住を開始した人ではいずれも8割を超えている。

[定住意向 - 地域庁舎管内別（過年度比較）]

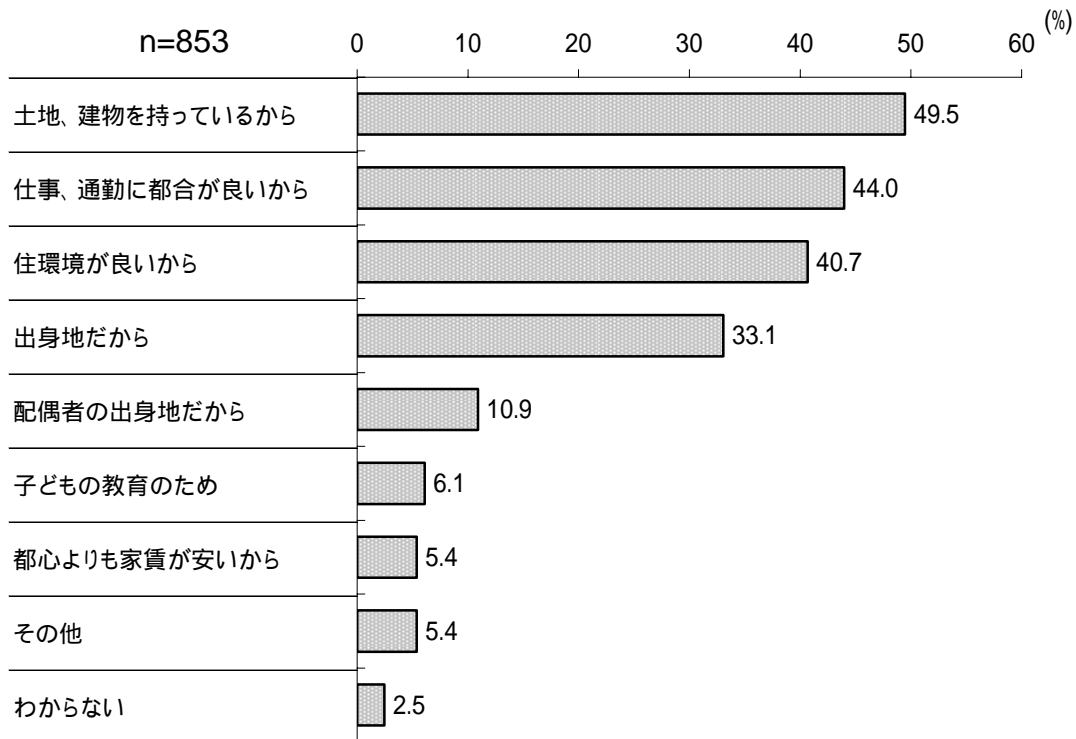


- 地域庁舎管内別の定住意向を前回調査の結果と比較すると、「これからも住みたい」は今回調査でも各管内で7割を超えており、「あまり長く住みたくない」と「大田区外へ移りたい」を合わせた転出意向のある人は、前回と大きな変化はみられない。

(3) 住みたい理由

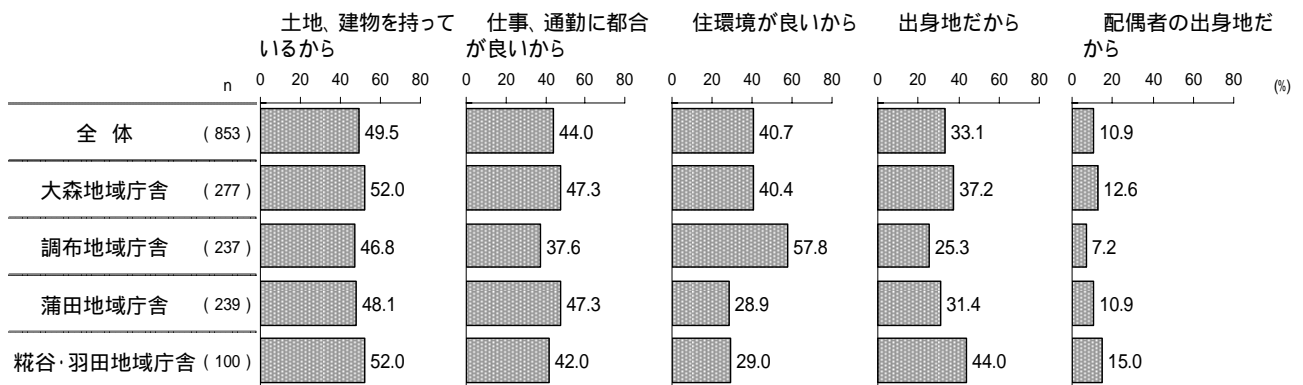
(問30で「1 これからも住みたい」と回答した方に)

問30-2. これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(いくつでも)



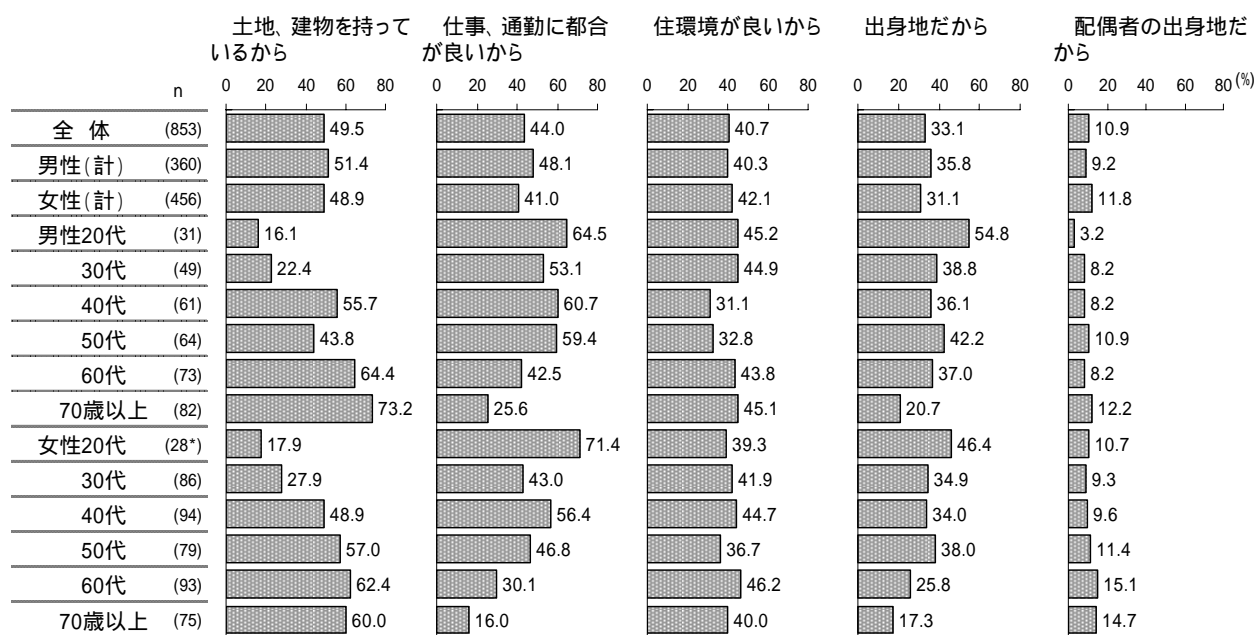
- ・ 全体でみると、「土地、建物を持っているから」(49.5%)が5割近くと最も高く、次いで「仕事、通勤に都合が良いから」(44.0%)、「住環境が良いから」(40.7%)、「出身地だから」(33.1%)などの順となっている。

[住みたい理由 - 地域庁舎管内別 (上位5項目)]



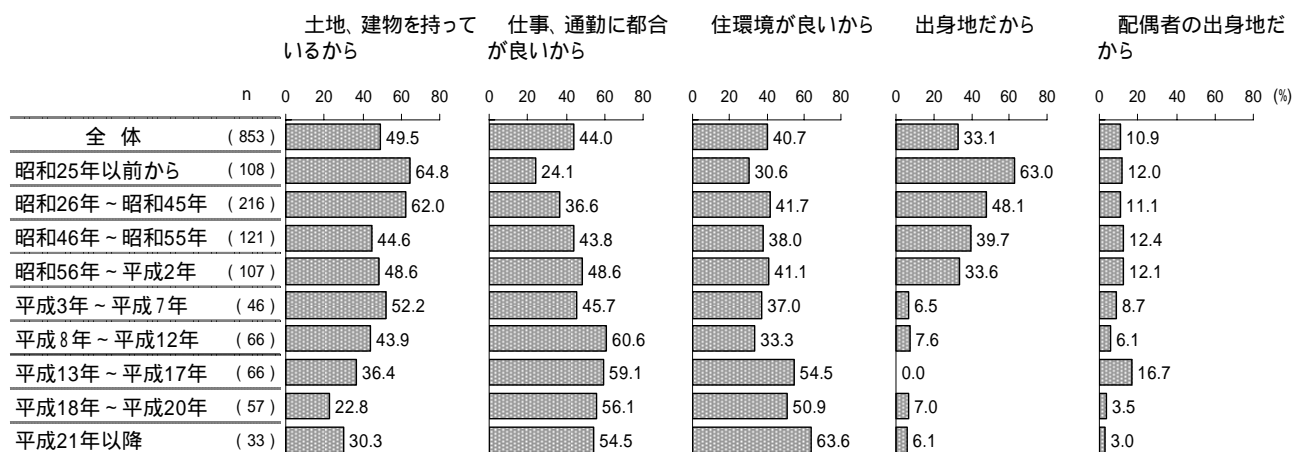
- ・ 地域庁舎管内別にみると、調布地域庁舎管内で最も多い理由は「住環境が良いから」が6割近くとなっており、それ以外の管内では、いずれも「土地、建物をもっているから」が5割前後で最も多くなっている。

[住みたい理由 - 性 / 年代別 (上位5項目)]



- ・性別にみると、「仕事、通勤に都合が良いから」では男性が女性より7.1ポイント高く、「出身地だから」でも男性が女性より4.7ポイント高くなっている。「配偶者の出身地だから」では女性が男性より2.6ポイント高くなっている。
- ・性 / 年代別にみると、「土地、建物を持っているから」では男女とも高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。一方、「仕事、通勤に都合が良いから」では特に女性において低い年代ほど割合が高くなる傾向にある。また、「出身地だから」では男女とも20代で5割前後と高くなっている。

[住みたい理由 - 居住開始時期別]



- ・居住開始時期別にみると、「土地、建物を持っているから」では居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。一方、「仕事、通勤に都合が良いから」では居住年数が短いほど割合が高い傾向にある。また、「住環境が良いから」では居住年数10年未満の層において5～6割と高くなっている。「出身地だから」では昭和25年以前からの居住者が6割強と高くなっている。